



アライアンス・バーンスタイナー

アメリカン・グロース・ポートフォリオ クラスAX受益証券

ルクセンブルグ籍オープン・エンド型契約型外国投資信託(米ドル建)

作成対象期間 第19期(2014年9月1日~2015年8月31日)

第19期末	
1口当たり純資産価格 (クラスAX受益証券)	67.30米ドル
純資産総額 (全クラス合計)	663,183,058米ドル
第19期	
騰落率	+9.61%
1口当たり分配金額	該当事項なし

受益者の皆様へ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、アライアンス・バーンスタイン(以下「トラスト」といいます。)のポートフォリオの一つであるアメリカン・グロース・ポートフォリオ(以下「ファンド」といいます。)は、このたび、第19期の決算を行いました。

ファンドの投資目的は、アメリカ合衆国の株式への投資を通じて元本の長期的な成長を達成することです。ファンドは、当期につきましても、上記に沿った運用を行いました。ここに当期の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

書面での運用報告書(全体版)は受益者の皆様からのご請求により交付されます。書面での交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

その他記載事項
運用報告書(全体版)は代行協会のウェブサイト(<http://www.abglobal.co.jp/>)の投資信託情報ページにて電磁的方法により提供しております。

代行協会員

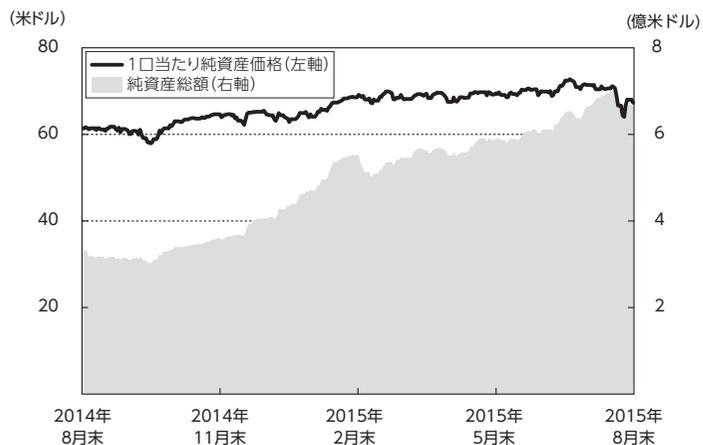
アライアンス・バーンスタイン株式会社

管理会社

アライアンス・バーンスタイン・ルクセンブルグ・エス・エイ・アール・エル

《運用経過》

当期の1口当たり純資産価格等の推移について



第18期末の1口当たり純資産価格：	
(クラスAX 受益証券)	61.40 米ドル
第19期末の1口当たり純資産価格：	
(クラスAX 受益証券)	67.30 米ドル
騰落率：	+9.61%

(注1) クラスAX受益証券については、分配方針に従い、分配金は支払われておりません。

(注2) ファンドの購入価額により課税条件が異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) ファンドにベンチマークおよび参考指数は設定されておりません。

■1口当たり純資産価格の主な変動要因

○上昇要因

成長の可能性が高いと判断し保有した米国の株式の上昇

○下落要因

成長の可能性が高いと判断し保有した米国の株式の下落

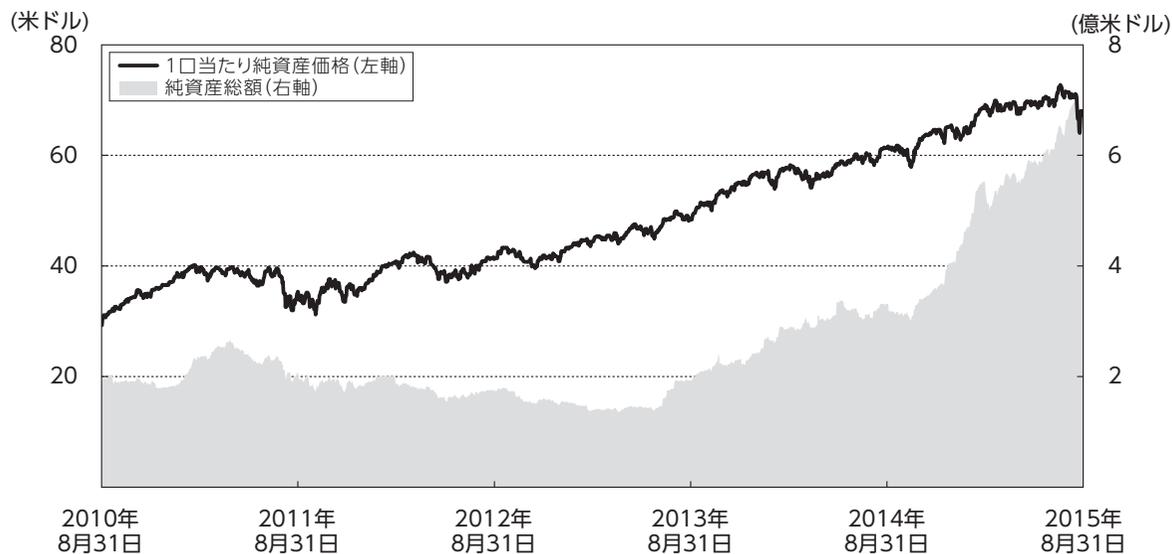
費用の明細

項目	料率／金額 ^(注1)	役務の概要	
(a) 管理報酬	クラスAX受益証券の日々の純資産総額の平均額の年率0.92%	管理会社が一括受領し、その中から主に以下の関係法人に対し報酬が支払われます。	
		支払先	役務の内容
		投資顧問会社	ファンド資産の日々の投資運用業務
		販売会社	ファンドの受益証券の販売取扱業務
		代行協会員	クラスAX受益証券に関する代行協会員業務
(b) 管理会社報酬	クラスAX受益証券の日々の純資産総額の平均額の年率0.10%	ファンドの運営および中心的管理業務の対価として、管理会社に支払われます。	
(c) 保管報酬、管理事務代行報酬および名義書換代行報酬	ルクセンブルグの通常の実務慣行に従い、資産を基準とする報酬と取引手数料の組合せとなっています。 管理事務代行報酬、保管報酬および名義書換代行報酬の年間の合計額は、通常、ファンドの純資産総額の最大1%です。保管報酬には、別途課されるコルレス銀行の費用、その他一定の税金、仲介手数料(適用ある場合)、借入利息は含まれていません。	ファンドの資産の保管業務、純資産価格の計算等の管理事務代行業務、ファンドの受益証券の登録・名義書換代行業務の対価として、保管受託銀行、管理事務代行会社および名義書換代理人にそれぞれ支払われます。	
(d) その他の費用(当期)	0.13% ^(注2)	<ul style="list-style-type: none"> ・ファンドの資産および収益に課せられる一切の税金 ・ファンドの組入証券の取引に係る銀行手数料および仲介手数料等 ・監査報酬および弁護士報酬 ・書面、通知、会計記録、届出書、目論見書および報告書の作成、翻訳、印刷費等 	

(注1) 各報酬については、英文目論見書に定められている料率または金額を記しています。

(注2) 「その他の費用(当期)」には、運用状況等により変動するものや実費となる費用が含まれます。便宜上、当期のその他の費用の金額をファンドの当期末の純資産総額で除して100を乗じた比率を表示していますが、実際の比率とは異なります。

最近5年間の1口当たり純資産価格等の推移について



	第14期末 2010年 8月31日	第15期末 2011年 8月31日	第16期末 2012年 8月31日	第17期末 2013年 8月31日	第18期末 2014年 8月31日	第19期末 2015年 8月31日
1口当たり純資産価格 (クラスAX受益証券) (米ドル)	29.27	35.37	41.43	48.40	61.40	67.30
1口当たり純資産価格の騰落率 (クラスAX受益証券) (%)	—	+20.84%	+17.13%	+16.82%	+26.86%	+9.61%
純資産総額 (全クラス合計) (千米ドル)	185,420	207,601	174,479	192,797	331,751	663,183

(注1) クラスAX受益証券については、分配方針に従い、設定来、分配金は支払われておりません。

(注2) ファンドの購入価額により課税条件が異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) ファンドにベンチマークおよび参考指数は設定されておりません。

投資環境について

2015年8月31日までの12ヵ月間におけるグローバル市場では、一般的に原油やコモディティ価格の急落による影響を受けたほか、ギリシャや中国の経済の動向も投資家の懸念材料となりました。

米国株式市場は、2014年9月下旬から10月中旬にかけて、中東情勢の緊迫化や国際通貨基金(IMF)による世界経済成長見通しの下方修正、米国の早期利上げ観測などが嫌気されて大きく下落しました。しかし、その後、良好な米国の経済指標や企業決算、米連邦準備理事会(FRB)が低金利維持を再度確認したこと、中国での約2年ぶりの利下げ実施などを好感して反発しました。2015年に入ると、欧州中央銀行(ECB)による量的緩和実施や良好な米国経済指標が好感される一方、原油価格の下落や米ドル高進行、米国の早期利上げ懸念などが重石となり一進一退の展開が続きました。8月下旬には、中国人民元の切り下げ、銅や原油価格の下落継続などを背景にグローバル経済の減速懸念が強まったことから大幅に下落しました。

ポートフォリオについて

ファンドは米国で発行される株式及び株式関連証券等から成るポートフォリオに投資することにより、信託財産の長期的な成長を目指します。運用にあたっては、当期も引き続き企業のファンダメンタルズ分析と株価バリュエーションに基づく銘柄選択を基本に、成長の可能性が高いと判断される米国株式に投資しました。

その結果、セクター別配分においては、一般消費財セクター、情報技術セクター、ヘルスケア・セクター等が上位となりました。

ベンチマークとの差異について

ファンドは、特定の指数を上回ることを目指す運用を行っていないため、ベンチマークを設けておりません。6頁「参考情報」のグラフは、純資産価格と他の代表的な資産クラスとの騰落率の対比です。

分配金について

ファンドは、分配方針に従い、クラスAX受益証券については原則的に分配は行いません。従って、設定来、分配金は支払われておりません。

《今後の運用方針》

ファンドは、今後も投資方針に従って運用を行って参ります。

《お知らせ》

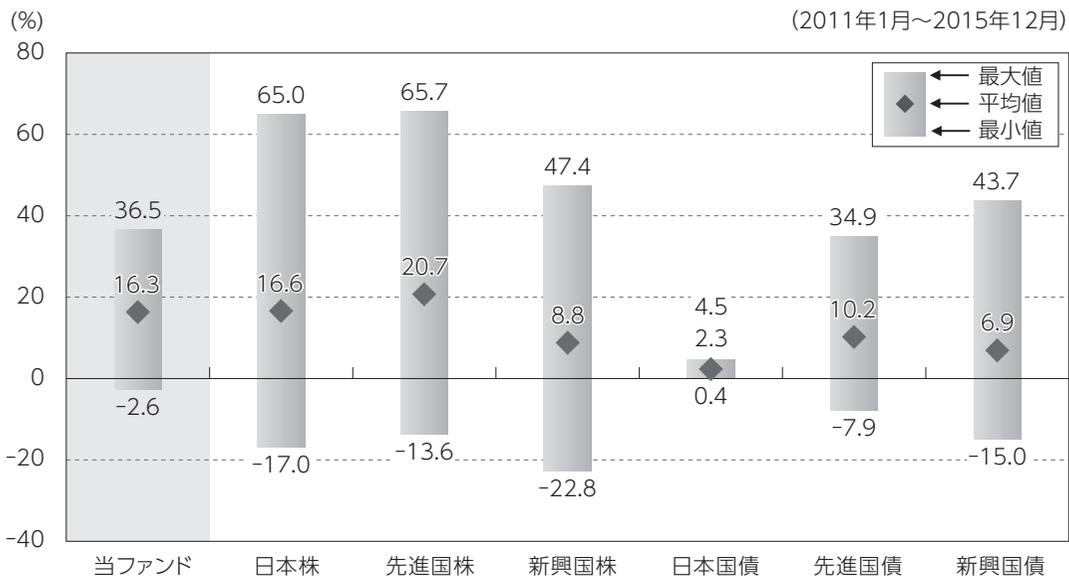
- 2016年2月5日付で、トラストである「アライアンス・バーンスタイン」の英文名称が「ACMBernstein」から「AB FCP I」に変更されました。日本語名称に変更はありません。
- 2016年4月1日付で、代行協会員は、アライアンス・バーンスタイン証券会社 東京支店からアライアンス・バーンスタイン株式会社に変更されました。

《ファンドの概要》

ファンド形態	ルクセンブルグ籍オープン・エンド型契約型外国投資信託(米ドル建)
信託期間	ファンドの存続期間は無期限です。ただし、管理会社の決定により、ファンドを解散することができます。
運用方針	ファンドの投資目的は、主としてアメリカ合衆国の発行体の株式への投資を通じて元本の長期的な成長を達成することです。
主要投資対象	ファンドは、投資顧問会社が優れた収益成長を達成する可能性があると判断する、注意深く選択され、限定された銘柄数の米国の優良大企業の株式および株式関連証券(普通株式、普通株式に転換可能な有価証券ならびに普通株式を引受または購入する権利およびワラント)(以下「株式」という。)に大部分を投資します。通常の状況においては、ファンドは、その純資産の80%以上を、アメリカ合衆国に登記上の事務所を有する企業または経済活動の主要部分をアメリカ合衆国において営んでいる企業によって発行された株式に投資します。
ファンドの運用方法	ファンドが投資するグロース株は、投資顧問会社のグロース投資部門の米国グロース投資戦術を用いて選定されます。グロース投資部門は、一般的に、米国株式市場全体と比較して、市場時価総額が相対的に高い米国企業の株式を選択します。 通常の市況においては、投資顧問会社の米国グロース株調査スタッフの調査に基づき、約40社から60社がファンドに組入れられ、これらの企業のうち最も高く評価された25社が通常ファンドの純資産の約70%を構成することになります。投資顧問会社は、実質的に平均を上回る潜在的収益成長の可能性があり、かつそれが市場の予想を上回ると予測される企業を特定することに調査の重点を置きます。
分配方針	管理会社は、現在、クラスAX受益証券に関して分配を行わない方針です。従って、クラスAX受益証券に帰属する純収益および純実現利益は、受益証券の純資産価格に反映されます。

《参考情報》

■ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



● 上記グラフは、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように、2011年1月から2015年12月の5年間の各月末における直近1年間のファンドと代表的な資産クラスの年間騰落率*の平均・最大値・最小値を表示したものです。

* ファンドの年間騰落率(各月末時点)は、各月末とその1年前におけるクラスAX受益証券の1口当たり純資産価格を対比して算出しております。代表的な資産クラスの年間騰落率(各月末時点)は、各月末とその1年前における下記の指数の値を対比して算出しております。

● 全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

● クラスAX受益証券の年間騰落率は、その表示通貨である米ドル建てで計算されており、円貨に為替換算されておりません。したがって、円貨に換算した場合、上記とは異なる騰落率となります。

上記の参考情報は、あくまで過去の実績であり、将来の運用成果を保証または示唆するものではありません。

***代表的な資産クラスの指数およびその著作権等について**

日本株…東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は、円貨に為替換算しております。

東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。

MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

NOMURA-BPI国債

NOMURA-BPI国債は、野村證券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社に帰属します。

シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、Citigroup Index LLCが開発した、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、シティ世界国債インデックスに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、Citigroup Index LLC に帰属します。

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース)

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース) は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P.Morgan Securities LLCに帰属します。

《ファンドデータ》

組入資産の内容(第19期末)

●組入上位10銘柄

(組入銘柄数:50銘柄)

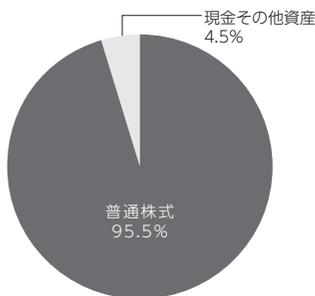
	銘柄名	国	業種	組入比率(%)
1	Apple, Inc.	米国	情報技術	5.7
2	Facebook, Inc. - Class A	米国	情報技術	4.3
3	Intuitive Surgical, Inc.	米国	ヘルスケア	4.2
4	Google, Inc. - Class C	米国	情報技術	4.2
5	UnitedHealth Group, Inc.	米国	ヘルスケア	4.2
6	Visa, Inc. - Class A	米国	情報技術	4.2
7	CVS Health Corp.	米国	生活必需品	4.1
8	Biogen, Inc.	米国	ヘルスケア	4.1
9	Home Depot, Inc. (The)	米国	一般消費財・サービス	3.9
10	Walt Disney Co. (The)	米国	一般消費財・サービス	3.5

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

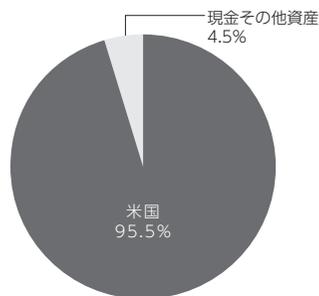
(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

(注3) 国につきましては、発行国を表示しております。

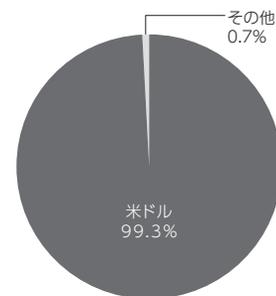
●資産別配分



●国別配分



●通貨別配分



(注1) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注2) 比率は四捨五入してあります。従って、合計の数字が一致しない場合があります。

(注3) 国別配分につきましては発行国を表示しております。

純資産等

項 目	第19期末
純資産総額(全クラス合計)	663,183,058米ドル
純資産総額(クラスAX受益証券)	8,169,383米ドル
受益証券発行済口数 (クラスAX受益証券)	121,385口
1口当たり純資産価格 (クラスAX受益証券)	67.30米ドル

第19期(クラスAX受益証券)				
受益証券 販売口数	乗換口数 (+)	受益証券 買戻口数	乗換口数 (-)	受益証券 発行済口数
0	0	1,073	0	121,385
(0)	(-)	(270)	(-)	(820)

(注) ()の数は日本国内における販売・買戻しおよび発行済の受益証券口数です。

